

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要					
事業開始年度		①平成15年度 ②平成16年度		根拠法令・例規等	①備前市長寿祝金条例 ②備前市高齢者ふれあい事業補助金交付要綱
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目	施策	04	高齢者福祉	
事務事業名		14	長寿御祝事業		
			先	職・氏名	係長 森中 信行
			電 話	64-1827	
			このシート作成に要した時間		1.5 時間

事業の目的		
対 象 (誰・何に対して)	①100歳の市民 ②年度内に75歳以上となる市民	
目 的 (何のために)	①長寿祝金：高齢者に対し祝金を支給して敬老の意を表し、その福祉を推進する。 ②高齢者ふれあい事業：高齢者同士や近隣住民等とのふれあいのために町内会等が実施する敬老会等の事業に要する経費に対して、補助金を交付することにより、高齢者の心身の健康増進を図る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	①市内の高齢者宅を慰問することにより、長寿を祝うとともに、敬老精神の向上を図る ②地域でともに支えあいながら敬老の意を表し、高齢者の福祉の増進を図る。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	敬老祝金支給事業	祝金を支給する。	○
	敬老事業補助事業	町内会等が実施する敬老会等に補助金を交付する。	◎

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		15,672	13,113	16,606	
	必要人員	千円	0.21人	1,787	0.20人	1,589
	必要人員	人件費	1,787	1,589	1,938	
	事業費計		17,459	14,702	18,544	
	国県支出名					
財源	受益者負担					
	繰入金	千円				
	その他()					
一般財源		17,459	14,702	18,544		
受益者負担比率	%					
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	結果指標	説明	高齢者ふれあい事業対象者数(75歳以上の市民)の推移			
	対前年比	%	6,141	6,239	6,386	
	対前年比	%	-	101.6%	102.4%	
	活動コスト	円	17,458,000	14,702,000	18,543,983	
	単位当たりコスト	円	2,843	2,356	2,904	

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
成果指標名	高齢者ふれあい事業75歳以上参加率	目標値(A)	60	50	93	93
	H21年度より高齢者ふれあい事業町内会・施設参加率	実績値(B)	49	51	89	到達目標値
		達成率(B/A)	81.67%	102.00%	95.70%	100
成果指標設定の考え方・式や説明						
平成20年度までは75歳以上参加者/ふれあい事業対象者 平成21年度より申請町内会・施設/ふれあい事業対象町内会・施設						

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C	

留意事項の目的やその数値の評価指標である成果指標を行って下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況				○					
説明	高齢者ふれあい事業は記念品配布のみの事業でなく、高齢者同士や近隣住民とふれあえる事業の実施を推奨している								

総合評価			
総合評価	敬老精神の向上を図り、高齢者の福祉の増進を図るため、最小限の範囲で、敬老・慰問を続ける必要がある。また高齢者ふれあい事業は町内会等の自主的な活動として定着しており、地域の一体感を高める意味でも継続が適当と思われる。	評価区分 <A~E> C	妥当性 有効性 効率性

平成23年度の方向性及び取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性				○					
取組目標	敬老精神の向上を図り、高齢者の福祉の増進を図るため、最小限の範囲で、敬老・慰問を続ける必要がある。また高齢者ふれあい事業は町内会等の自主的な活動として定着しており、地域の一体感を高める意味でも継続が適当と思われる。								